

## 児童発達支援自己評価結果 《事業者》

令和3年3月26日  
こどもサポート教室 ピュアの樹

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	<input type="radio"/>			遊具やコーナー配置において危険の無いように配慮した
	2	職員の配置数は適切であるか	<input type="radio"/>			適切だが、今後さらなる人員確保に努めたい
	3	事業所の設備について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	<input type="radio"/>			バリアフリー化・安全には配慮し、点検修正を実施した
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	<input type="radio"/>			全職員が課題を共有し取り組んだ。来期にはICTの導入を見据えている。
	5	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	<input type="radio"/>			アンケートを実施し保護者の意向・要望を知り、それらを共有することで業務改善につなげている。
	6	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	<input type="radio"/>			ホームページに公開している。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			<input type="radio"/>	香久山会法人本部の評価を得て、改善に取り組んでいる。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	<input type="radio"/>			週1回(木)療育勉強会や年1回療育研究会を実施している。
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	<input type="radio"/>			児童発達支援管理責任者が療育担当者と協議し、作成している。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	<input type="radio"/>			厚生労働省のガイドラインを参考にしている。
	11	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか		<input type="radio"/>		「地域支援」は未実施で、今後の課題と考えている
適切な支援の提供	12	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	<input type="radio"/>			ケース会議を定期的に行っている
	13	活動プログラムの立案をチームで行っているか	<input type="radio"/>			チームで行っている
	14	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	<input type="radio"/>			全スタッフがアイデアを出し、実施プログラムに仕上げるために随時ミーティングしている。
	15	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成しているか	<input type="radio"/>			基本は個別療育だが、こどもたちの課題やニーズに合わせて3~4人の小集団でおこなう時もある。

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
関係機関や保護者との連携	16	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			毎日、支援前に打ち合わせてしている。
	17	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			支援終了後に振り返り、反省点や改善点を話し合っている。
	18	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			適切に記録をとり、児発管が確認している。必要に応じ検証し、改善につなげている。
	19	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	○			児童発達支援管理責任者が中心に見直しの必要性を判断している。
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			児童発達支援管理責任者が参加している。
	21	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	○			連携している
	22	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか			○	対象児童はいない
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか			○	対象児童はいない
	24	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○			相談支援員を通して、移行に向けて情報共有と相互理解を図っている
	25	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○			相談支援員を通して、移行に向けて情報共有と相互理解を図っている
関係機関や保護者との連携	26	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか			○	今後の課題である
	27	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	○			同法人保育園やこども園の子どもたちと交流できる環境である。
	28	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか			○	今後機会があれば参加してきたい
	29	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			話ができる時間を積極的に設けると共に、連絡帳による情報提供や意向把握などに努めている。
	30	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	○			保護者のニーズがあれば、家族全員に対して支援させていただいている。
運営	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			丁寧に説明している。
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	○			丁寧に説明し同意を得ている

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
保護者への説明責任等	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	<input type="radio"/>			常時窓口を設け、電話相談及び来所相談にも随時対応している。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		<input type="radio"/>		今年度コロナ禍により、十分な連携支援等ができないかった。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	<input type="radio"/>			不十分な側面があることも否定できないが、必要な場合にはどのような相談にも対応できるように職員資質を高め、迅速に解決に向かえるよう努めている
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	<input type="radio"/>			今年度、新たにピュアの樹だよりを発行している。 連絡帳を介して連絡事項も伝えている。
	38	個人情報の取扱いに十分注意しているか	<input type="radio"/>			十分注意している。
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	<input type="radio"/>			常に配慮している
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	<input type="radio"/>			地域ボランティア団体の影絵鑑賞会や地域のコルク画家さんとの交流会を開催している。
	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか		<input type="radio"/>		今後有効なマニュアル作成を行い周知していきたい。緊急ラインの設置やコロナ感染予防対策等は実施した
非常時等の対応	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか		<input type="radio"/>		商業施設の中にあり安全性は担保されていると思うが、今後定期的に実施したい。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか	<input type="radio"/>			個人シートにご記入いただき、把握できている
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	<input type="radio"/>			アレルギー種別に掲示物を設け連絡記録ファイルに注意喚起のシールを貼った。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	<input type="radio"/>			日誌にその都度記入し、改善に向け会議で共有している。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	<input type="radio"/>			定期的に勉強会を行っている
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	<input type="radio"/>			身体拘束は行っていないが、定期的に勉強会を行っている

○この児童発達支援自己評価表は、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の職員の方に、事業所の自己評価をしていただきます。「はい」、「いいえ」のどちらかに「○」を記入するとともに、「工夫している点」、「課題や改善すべき点」等について記入してください。

## 放課後等デイサービス自己評価結果 《事業者》

令和3年3月26日  
こどもサポート教室 ピュアの樹

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	<input type="radio"/>			適切である。更に遊具や各コーナー配置が危険の無いように配慮した。
	2	職員の配置数は適切であるか	<input type="radio"/>			適切だが今後、更なる職員確保に努めたい
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	<input type="radio"/>			バリアフリー化・安全には配慮し点検修正を実施した。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	<input type="radio"/>			全職員が課題を共有し取り組んだ。来期にICTの導入を見据えている。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	<input type="radio"/>			できる限り保護者の意向・要望等を把握し、業務改善につなげている。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	<input type="radio"/>			ホームページで公開している。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			<input type="radio"/>	香久山会法人本部の評価を得て、改善に取り組んでいる
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	<input type="radio"/>			週1回(木)療育勉強会や年1回療育研究会を実施している。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	<input type="radio"/>			児童発達支援管理責任者が療育担当者と協議し、作成している。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	<input type="radio"/>			厚生労働省のガイドラインを参考にしている。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	<input type="radio"/>			チームで行っている。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	<input type="radio"/>			全スタッフがアイデアを出し、実施プログラムに仕上げるために随時ミーティングしている。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	<input type="radio"/>			来たる日程の属性に応じ、子供たちや保護者の意向を反映させるようにしている。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	<input type="radio"/>			基本は個別療育だが、ソーシャルスキル学習など、こどもたちの課題やニーズに合わせて小集団でおこなう時もある。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	<input type="radio"/>			毎日、支援前に打ち合わせてしている。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	<input type="radio"/>			支援終了後に振り返り、反省点や改善点を話し合っている。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	<input type="radio"/>			適切に記録をとり、児発管が確認している。必要に応じ検証し、改善につなげている。

	18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	<input type="radio"/>			児童発達支援管理責任者が中心に見直しの必要性を判断している。
	19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っているか	<input type="radio"/>			組み合わせている。
関係機関や保護者との連携	20 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	<input type="radio"/>			児童発達支援管理責任者が参加している。
	21 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか		<input type="radio"/>		必要に応じ適宜適切な情報共有・連絡調整に努めようとしている。
	22 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		<input type="radio"/>		医療的ケアが必要なこどもはいない。
	23 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	<input type="radio"/>			必要に応じ、保護者了解の元、就学前の状況等の照会等は行い、支援に資する情報を共有している。
	24 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか		<input type="radio"/>		現在、対象となるこどもはいない。
	25 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか		<input type="radio"/>		今後の課題である
	26 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	<input type="radio"/>			同法人保育園やこども園の子どもたちと交流できる環境である。
	27 (地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか		<input type="radio"/>		今後、機会があれば参加していきたい。
	28 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	<input type="radio"/>			話ができる時間を積極的に設けると共に、連絡帳による情報提供や意向把握などに努めている。
	29 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレン特レーニング等の支援を行っているか	<input type="radio"/>			保護者のニーズがあれば、家族全員に対して支援させていただいている。
保護者への説明責任等	30 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	<input type="radio"/>			丁寧に説明している。
	31 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	<input type="radio"/>			常時窓口を設け、電話相談及び来所相談にも随時対応している。
	32 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		<input type="radio"/>		今年度コロナ禍により、十分な連携支援等ができなかつた。

	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	<input type="radio"/>			苦情窓口担当を設置し、真摯に対応していると共に、再発防止にはすぐに取り組んでいる。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	<input type="radio"/>			今年度、新たにピュアの樹だよりを発行している。 連絡帳を介して連絡事項も伝えている。
	35	個人情報に十分注意しているか	<input type="radio"/>			十分注意している。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	<input type="radio"/>			いろいろな方法、方向で情報伝達している。状況に応じMakatonサインや視覚支援カードなども活用する。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	<input type="radio"/>			地域ボランティア団体の影絵鑑賞会や地域のコルク画家さんとの交流会を開催している。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか		<input type="radio"/>		今後有効なマニュアル作成を行い周知していきたい。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか		<input type="radio"/>		商業施設の中にあり安全性は担保されていると思うが、今後定期的に実施したい。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	<input type="radio"/>			研修会を開いている。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	<input type="radio"/>			身体拘束は行っていない。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	<input type="radio"/>			保護者に個人情報シートに記入いただき対応している。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	<input type="radio"/>			その都度、日誌に記入し反省や改善を共有している。